

歴史と神戸

神戸市文書館から市歴史公文書館へ



泉勇之介商店の木造酒蔵
震災で倒壊を免れたが2014年取り壊された

画・田中邦彦画伯

65巻 3号 / 歴史と神戸 / もくじ

神戸市文書館から市歴史公文書館へ

- 神戸市歴史公文書館の開館 神戸市行財政局 (2)
- 福原遷都、平氏系新王朝創設説への反論 中島 豊 (10)
- 公卿の宿所用地の配給をめぐる -
- 鎌倉期における後家相続についての一考察 中村 勇造 (15)
- 播磨国・中村八郎道覚後家尼音阿の事例から -
- 日中戦争期の大阪における軍事援護事業 堤 聖菜 (28)
- 軍人遺家族援護組合から銃後奉公会 -
- 神戸空襲を記録する会の取り組み、これまでとこれから
落合重信記念賞シンポジウム参加記 櫻井 秀一 (45)
- 神戸史学会奨励賞最優秀賞に下箱石響さん (49)

新聞地域版を読む (9、14、27、44、48) 新入会員紹介 (49)
表紙の作者・田中邦彦氏

巻頭言

念願だった神戸市歴史公文書館が六月一日にオープンした。古文書など歴史史料と公文書を保存・公開、研究をする。本誌巻頭の紹介を参照されたい。神戸史学会もかつて文書館の設立を訴え、今回筆者も理念づくりに参加した。関東には基礎自治体レベルの文書館がたくさんある。県内では尼崎市立地域研究史料館(現尼崎市立歴史博物館)が、全国でも先駆けて設置され、理論と実践で牽引役を果たしたが、県域全体では立ち遅れが著しい。県立施設では、鹿兒島、愛媛県を除き文書館を整備したが、兵庫県は、県公館歴史資料館部門を、県民情報センターと併設にした。公文書は県民の財産であり、施策の検証と将来の施策の充実のために不可欠。また歴史史料の取り扱いを行政の情報公開部門で扱うのは、専門性から言っても疑問がある。県庁の建て替えの構想があるが、今のところ盛り込む予定は聞かない。当たり前のことを当たり前にする。そんな自治体が続くことを願う。

(大國)

兵庫の城 353選

姫路城をはじめ、中世の山城から幕末の砲台跡まで、1000を超す城から厳選して紹介。

本岡勇一・著 ●定価2,420円(税込)

荻原一青の城郭画と 兵庫の名城

尼崎城をはじめ兵庫県の城郭図を読み解き、城郭画家・荻原一青の波乱の人生と事績をたどる。

大国正美 辻川敦・編著

●定価2,200円(税込)

城下町姫路と播磨

村から町への変遷、城下町特有の景観や考古資料など、多角的に播磨・姫路の城下町を解明する。

播磨学研究所・編 ●定価1,980円(税込)

兵庫の庭園ものがたり

日本の名園と探る

兵庫の庭園を27のテーマに分けて魅力を語る。日本の名園との比較や、今後の課題も提言する。

西桂・著 ●定価2,420円(税込)

ひょうご鉄学いまむかし

播磨のたたら製鉄

西播磨の山間部を中心に行われてきた「たたら製鉄」。兵庫の製鉄の歩みと歴史をひもとく。

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・編／村上泰樹 土佐雅彦 坂江渉・監修

●定価1,320円(税込)

ひょうごの仏像探訪

県立歴史博物館で仏教彫刻を担当した著者が、記憶に残る仏像や多彩な仏像の魅力を紹介。

神戸佳文・著 ●定価2,200円(税込)

兵庫県の古代遺跡 1 2

全国有数の遺跡数を誇る兵庫県。特色ある古墳や出土品、近年発掘された遺跡を全2巻で。

櫃本誠一 岸本一宏 大手前大学史学研究所・編 ●定価各4,180円(税込)

自費出版のご相談は

078-362-7143(出版部)
jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp

神戸新聞総合出版センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL078-362-7138(販売) FAX078-361-7552

▶<https://kobe-yomitai.jp/> 公式 X @kobe_np_syuppan

創刊・昭和37年8月15日

会費・年額三千元(1~12月)

隔月刊・歴史と神戸 第65巻第3号

令和8年6月1日発行

編集発行 神戸史学会

〒657- 神戸市灘区岩屋中町三丁目一ノ四

〇八四 田中印刷出版株式会社内

電話(078)871-0551

振替口座 〇一九〇二一四〇二八

▼代表兼編集人 大国正美

▼副代表 増田行雄

▼会計担当 有吉康徳

◆会費納入の銀行振込をご希望の方は、
メールでお問い合わせください。